

査読報告書①

論文番号:

論文タイトル:

投稿者が希望する論文種類: 総説 原著論文 研究報告 実践報告 資料 その他

評価基準 ○:原文のまま、△:一部見直し、×:全面見直し

項 目	内 容	評 価
表 題	1. 表題と内容に整合性がある。	
目 的	2. 文献検討(文献レビュー)が適切になされている。	
	3. 研究(活動)目的が明確である。	
	4. 研究(活動)意義が述べられている。	
研究方法	5. 対象の選定が適切である。	
	6. 分析方法(測定用具・基準、統計解析方法等)に信頼性と妥当性がある。	
結 果	7. 研究(活動)目的に沿った結果が記述されている。	
	8. 客観的事実が述べられている。	
	9. 図・表等の表現が適切である。	
考 察	10. 得られた結果が述べられている。	
	11. 目的または仮説に沿った考察で一貫性がある。	
	12. 論理の飛躍や矛盾がない。	
結 論	13. 目的に沿った結論が述べられている。	
	14. 研究(活動)の限界が述べられている。	
独創性	15. 本研究(活動)で得られた新たな知見が述べられている。	
	16. オリジナリティがある。	
倫理的配慮	17. 研究(活動)における倫理的配慮がなされている。	
体 裁	18. 本学の紀要投稿内規に沿っている。 枚数、体裁、reference記載法等	
論文の種類の妥当性	19. 論文の種類はどれが適切か(下記から選択し報告書に記入下さい) a. 総説 b. 原著論文 c. 研究報告 d. 実践報告 e. 資料 f. その他	
総合評価	20. 総合評価(下記から選択し報告書に記入下さい) a. このまま採用する b. 著者に修正を要求した後、再査読を行わずに採用する c. 著者に修正を要求した後、再査読を行う d. 不採用とする	

年 月 日 査読者氏名

※ 投稿者に査読結果を報告する際、査読者氏名は削除します。  
※ 必要時、助言等を別紙に記載されても構いません。